

アメリカの図書館：植民地時代から現代

この時代のトピック

独立以前：植民地時代（1600年代～1776年）

- ・ハーヴァード大学（植民地最初の大学、1636年）
- ・牧師トマス・ブレイ（1730年没）による図書館
- ・フィラデルフィア図書館会社（最初の会員制図書館、1731年）

独立からの100年間（1776年～1875年）

- ・ソーシャルライブラリー（social libraries）
- ・会員制図書館（subscription libraries）
- ・日曜学校図書館（Sunday school libraries）
- ・文芸クラブ（athenaeums）
- ・商業図書館（mercantile libraries）
- ・職工図書館（mechanics' libraries）
- ・徒弟図書館（apprentices' libraries）
- ・学区図書館（school district libraries）
- ・公共図書館（public libraries）
- ・大学図書館（college libraries, university libraries）
- ・議会図書館（Library of Congress）

1876年～1950年

- ・アメリカ図書館協会（1876年）
- ・公共図書館の急速な発展（巡回図書館、レファレンス、児童サービス）
- ・研究機能重視の大学が増え、大学図書館は研究支援の中心的存在に
- ・図書館学教育の進展（コロンビア大学の図書館学校、1887年～1889年）

1950年代～

- ・第二次世界大戦後の連邦政府が図書館の整備に積極的に取り組む（図書館サービス法、1956年）
- ・情報通信技術の進歩が図書館サービスに大きな影響を与える（OCLC、1967年）

1636	ハーヴァード大学創設（1638年にジョン・ハーヴァードから図書の遺贈）
1717	ニューハンプシャー州立図書館創設（アメリカ最初の州立図書館）
1730頃	イギリスの牧師トマス・ブレイ、植民地全体に約70の図書館を建設
1731	フィラデルフィア図書館会社（ベンジャミン・フランクリン、アメリカ最初の会員制図書館）
1776	《アメリカ独立宣言》
1800	アメリカ議会図書館（当初は議員活動の支援が目的）
1800年代	各種図書館活動（ソーシャルライブラリー。日曜学校図書館。文芸クラブ。商業図書館。職工図書館。徒弟図書館。学校区図書館。など）
1807	ボストン・アシニウム（アメリカ初期の研究図書館・博物館）
1816	アメリカ議会図書館、トマス・ジェファーソンの蔵書を購入（今日の発展の基礎に）
1820	ニューヨーク商業図書館協会の図書館（アメリカ最初の商業図書館）
1833	ニューハンプシャー州ピーターバラ町立図書館（アメリカ最初の公共図書館）
1836	陸軍軍医総監局図書館（現在の国立医学図書館の前身。現名称は1956年から）
1840	サウスカロライナ大学図書館（アメリカの大学で最初の独立した図書館）
1848	マサチューセッツ州、ボストン市の公共図書館のための課税を認める州法制定
1854	ボストン公共図書館（アメリカ最初の大規模で無料公開の市立図書館）
1861-1865	《アメリカ南北戦争》
1870	著作権法改正：議会図書館に2部納入することにより著作権登録（事実上の納本制度の開始）
1876	全米図書館大会開催：アメリカ図書館協会設立（世界初の図書館協会）。デューイ十進分類法公表。カッターの辞書体目録規則公表。American Library Journal 創刊（世界初の図書館専門雑誌）
1876	ジョンズ・ホプキンス大学設立（ゼミナールを重視するドイツ型の研究大学。これを契機にアメリカの大学は研究機能重視。大学図書館は「大学の心臓部」に）
1881～	アンドリュー・カーネギー、英米各地に公共図書館寄付（アメリカでは1679館）
1887	コロンビア大学図書館学校開設（入学者20名、女子17名、男子3名。1889年、ニューヨーク州立図書館に移転）
1895	ニューヨーク公共図書館（世界最大の公共図書館）
1914-1918	《第一次世界大戦》
1923	ウィリアムソン報告（提言：「図書館の専門的職務を一般的事務的職務と分離し、図書館の専門的職務の高度化を図り、大学教育の一部として行われるべき」）
1932	シカゴ大学図書館学博士課程
1939-1945	《第二次世界大戦》
1956	図書館サービス法
1967	オハイオ大学図書館センター（1977年、名称をOCLC, Inc.として独立。1981年、OCLC Online Computer Library Center, Inc.と改称）